植物研究雑誌
J. Jpn. Bot.
83: 185–196 (2008)

鹿児島県における普通植物の分布

金井弘夫

184-[redacted] 小金井市[redacted]

Distribution of Popular Plants in Kagoshima Prefecture, Southern Japan

Hiroo KANAI

[redacted] Koganei-shi, Tokyo, 184-[redacted] JAPAN

(Received on January 12, 2008)

Distribution of 31 popular plants (Tab. 1 and Figs. 1–9) in Kagoshima prefecture, Kyushu, southern Japan was surveyed in cooperation with local botanists. *Adenocaulon himalaicum* and *Kerria japonica* were recorded from one locality each (Fig. 8B and 9C) far from ones in the neighboring prefecture. They are reconfirmed by the local reporters as confidant. *Reynoutria sachalinensis*, which is an inhabitant of the Japan Sea side region of Honshu and Hokkaido, is reported from a single locality as a “naturalized plant.”

Key words: Distribution, Kagoshima, popular plants.

鹿児島県における普通植物の分布調査を，1976–2007年に地域在住研究者の協力を得て行った．分布情報を提供していただいた飯山春雄氏，慶田周平氏，上野達也氏，岩切 悟氏，濱田英昭氏，篠崎チサ氏，細山田三郎氏に感謝する．とりわけ協力者の紹介をいただいた細山田三郎氏に重ねて謝意を表する．手法については金井（2005）を参照されたい．調査の対象範囲は九州本土および道路で結ばれている北西部の長島で，屋久島，種子島をはじめとする離島はふくまれていない．

結　果

調査対象とした植物は，表1に示す31種である．得られた分布情報の数は総計2,924件で，その中から対象地域のレコードを抽出したところ，2,818件となった．本報では表示メッシュを5倍メッシュ（2.5万図の1/4でLocality Index 相当）（金井1972，1979）とする．この場合県の全メッシュ数は298個である．有効メッシュ（なんらかの情報が得られたメッシュ）は223個（図1），有効メッシュ率は74.8%である．この値はこれ迄の他県のそれとくらべると，一通りゆき届いた調査が行われたことを意味している．情報の年代は1990年代以降が92%を占めていたので，すべて一括して扱った．

後述する3種以外は，ほぼ一様な分布を示しており，種によって分布状態に疎密があるのは，調査地点や時期による偏りの影響と思われる．一方，オオイタドリ，ノブキ，フキについては，それぞれ1地点でしか記録されなかった．

オオイタドリ（図2D）は牧園町子鹿野滝［130°46´E 31°47´N］（130 m）で2005年6月4日に細山田三郎氏よって記録された．本種は本州の日本海沿岸地域から北海道に分布するものだが，近年各地の工事跡地などで国内帰化しており，場所によっては開花も見られるので，この産地もその一例と思われ，今後

の消長を注意する必要がある．

ノブキ（図8B）は大根占町池田［130°52′E 31°14′N］（230 m）で2003年7月25日に岩切 悟氏が記録したものである．これ迄の調査では，本種は宮崎県南部の鰐塚山塊が最も近い産地（金井2005）なので確認を求めたところ，時期的な関係で現場は見られないが，発表しても差し支えないとの回答を得た．

ヤマブキ（図9C）は細山田三郎氏が鹿児島市吉野町寺山［130°36′E 31°39′N］（350 m）で1973年3月25日に記録している．これまでの調査では，宮崎県椎葉が最も近い産地（金井2005）だったので確認を求めたところ，以下の回答を得たので要約引用する．

「寺山の産地は吉野台地で磯街道の上部，標高320–400 m の地点の約30 ha の森林で，毎年確認しており，細山田（1974）に発表したものである．ただしそれが本来の野生か，逸出して野生状態になったものかは不明である．」鹿児島県ではこの他に初島（1986）［磯街道（白浜），吉田（白金坂）］，鹿児島県（2003）［重富～竜ケ水，吉野（1910），唐湊（1925）］，初島（2004）［磯街道，南限，逸出］に記録がある．これらの産地についても，本来の野生か，逸出して野生状態になったものかは不明だが，吉田（白金坂）のものは野生と思う．

本調査では，新たな現地調査よりは，これ迄得られた結果を見返すことが本来の目的だったが，それはかえって困難で，他県ともども新たな現地調査の結果が大部分となっている．上記文献からの産地も取り込んだヤマブキの分布図を 図9D に示す．産地の数に比べて分布点が少ないのは，分布図の表示に5倍メッシュを用いているためである．これによれば，本調査の趣旨から見て，鹿児島市近辺にヤマブキの野生状態の産地があると言える．

普通植物分布調査は1985年頃から始めたもので，植栽品は除くことを当初は念を押していた．しかし回を重ねて馴れるにつれて，この念押しをしないようになっていった．私の側に「栽培ではなく，自生のものが対象」ということは自明であるという先入観が強くなった結果である．しかし実際には，とくにフキ，ヤマブキ，シロツメクサなどでは，植栽状態なのか，植栽が放置されて野生状態になったものなのか，本来の野生なのかの判断はむつかしく，観察者の判断にまかせるほかはない．シロツメクサは外来品でもともと植栽起源であるが，国内に近縁種がなく，広く分布しているため，「貴重さ」の対立概念としての「普通さ」の目安として適当と考えて調査対象に加えたものである．

また最近のように，工事跡の緑化に日本周辺地域から輸入した雑草の種子を撒くようになると，由来の異なる同じ種が混在することになる．コマツナギでは，在来品と微妙に異なる姿態のものを各地で見かけるようになったが，「コマツナギではない」という判断はしかねるうえ，「外来品である」という根拠もない．こういうものは，周辺の「同種」と次第に融合しながら，フロラの潜在的な変質をもたらして行くと思われる．北アルプスのクロユリやコマクサの減少を防ぐために，北海道の同種を移植する案が問題とされているのと同様な危惧が，普通植物では既に密かに進行していると考えねばならない．帰化植物の研究は多くの人がかかわっているが，こういうたぐいの「帰化」についても，注意深い観察研究が必要である．同時に，オオイタドリに見られるような国内帰化についても，今後の動向について注目する必要がある．

引用文献

初島住彦（編） 1986．改訂鹿児島県植物目録．鹿児島植物同好会．

初島住彦 2004．九州植物目録．鹿児島大学総合博物館研究報告(1)．

細山田三郎 1974．寺山自然教育研究施設の植物について．鹿児島大学教育学部研究紀要自然科学編(25)．

鹿児島県 2003．鹿児島県の絶滅のおそれのある野生動植物（鹿児島県レッドデータブック）植物編．鹿児島県環境生活部環境保護課，鹿児島．

金井弘夫 1972．日本植物の分布型の研究(3) 産地の表示法について．植物研究雑誌**47**: 215–221.

金井弘夫 1979．日本地図および分布図作図プログラム KLIPS2 操作法．国立科学博物館研究報告 B 類，**5**: 87–96.

金井弘夫 2005．宮崎県に於ける普通植物の分布．植物研究雑誌80: 34–47.

環境庁 1987．植物目録．

表 1．調査対象植物と分布密度．配列は植物コード順．植物コード：環境庁（1987）の種番号（Plant code. Environment Agency 1987）．情報数（Record size）：植物産地の件数（Number or record）．分布点数（No. of point = P）：表示用メッシュ（本報では 5 倍メッシュ）において，その種が存在するメッシュの数（Number of mesh with plant record）．分布密度（Density = P/V%. V = 223）．

植物名	Plant Name	植物コード Plant Code	情報数 Record Size	分布点数 No. of Point (P)	分布密度 Density P/V %	分布図 Figure
全数	Total number		2818	223 (=V)		1
アカメガシワ	*Mallotus japonicus*	31350	192	127	57.0	2A
アケビ	*Akebia quinata*	19210	148	104	46.6	2B
イタドリ	*Reynoutria japonica*	14320	109	77	34.5	2C
オオイタドリ	*Reynoutria sachalinensis*	14360	1	1	0.4	2D
オオイヌノフグリ	*Veronica persica*	51420	119	94	42.2	3A
オオバコ	*Plantago asiatica*	52300	140	104	46.6	3B
カナムグラ	*Humulus japonicus*	12600	99	71	31.8	3C
キツネノマゴ	*Justicia procumbens*	51690	121	88	39.5	3D
クサギ	*Clerodendrum trichotomum*	47850	98	69	30.9	4A
クズ	*Pueraria lobata*	29680	172	119	53.4	4B
ゲンノショウコ	*Geranium thunbergii*	30630	68	55	24.7	4C
コマツナギ	*Indigofera pseudotinctoria*	28960	34	28	12.6	4D
シロツメクサ	*Trifolium repens*	29860	83	65	29.1	5A
スイカズラ	*Lonicera japonica*	52720	202	137	61.4	5B
スベリヒユ	*Portulaca oleracea*	14600	26	22	9.9	5C
タケニグサ	*Macleaya cordata*	21570	26	22	9.9	5D
チカラシバ	*Pennisetum alopecuroides*	69520	66	53	23.8	6A
ツメクサ	*Sagina japonica*	15130	58	45	20.2	6B
ツユクサ	*Commelina communis*	65090	77	56	25.1	6C
テイカカズラ	*Tracherospermum asiaticum*	45190	143	99	44.4	6D
ドクダミ	*Houttuynia cordata*	19510	88	64	28.7	7A
ナズナ	*Capsella bursapastoris*	21830	66	56	25.1	7B
ナワシロイチゴ	*Rubus parvifolius*	27170	144	108	48.4	7C
ヌルデ	*Rhus javanica*	32260	104	73	32.7	7D
ネムノキ	*Albizia julibrissin*	28220	86	63	28.3	8A
ノブキ	*Adenocaulon himalaicum*	54480	1	1	0.4	8B
フキ	*Petasites japonicus*	58870	66	52	23.3	8C
ヘクソカズラ	*Paederia scandens*	46740	157	109	48.9	8D
ヤクシソウ	*Youngia denticulata*	60390	62	46	20.6	9A
ヤブカラシ	*Cayratia japonica*	34850	61	49	22.0	9B
ヤマブキ	*Kerria japonica*	25390	1	1	0.4	9C
ヤマブキ	*Kerria japonica*	25390	(With supplementary data)			9D

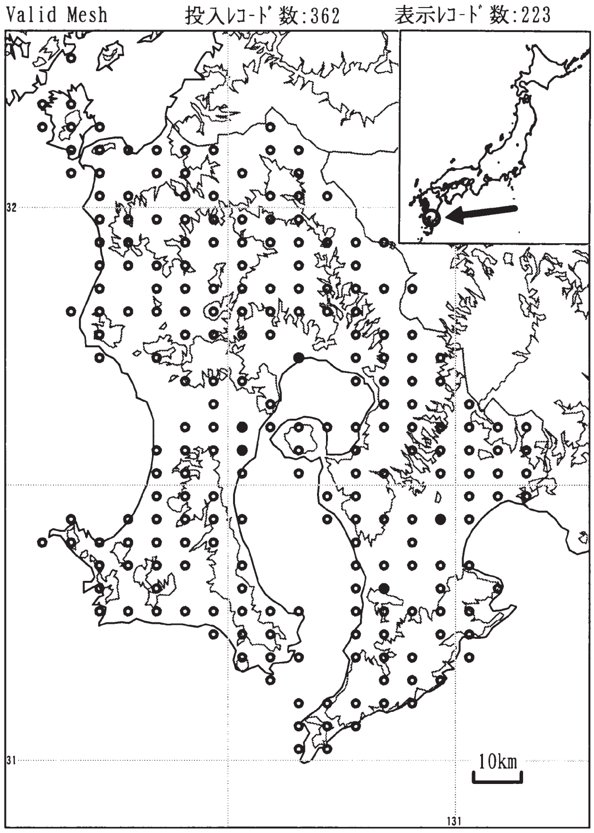

図1．有効メッシュ．表示は5倍メッシュ相当．等高線は200 m と1500 m．Valid mesh．Contor 200 and 1500 m．

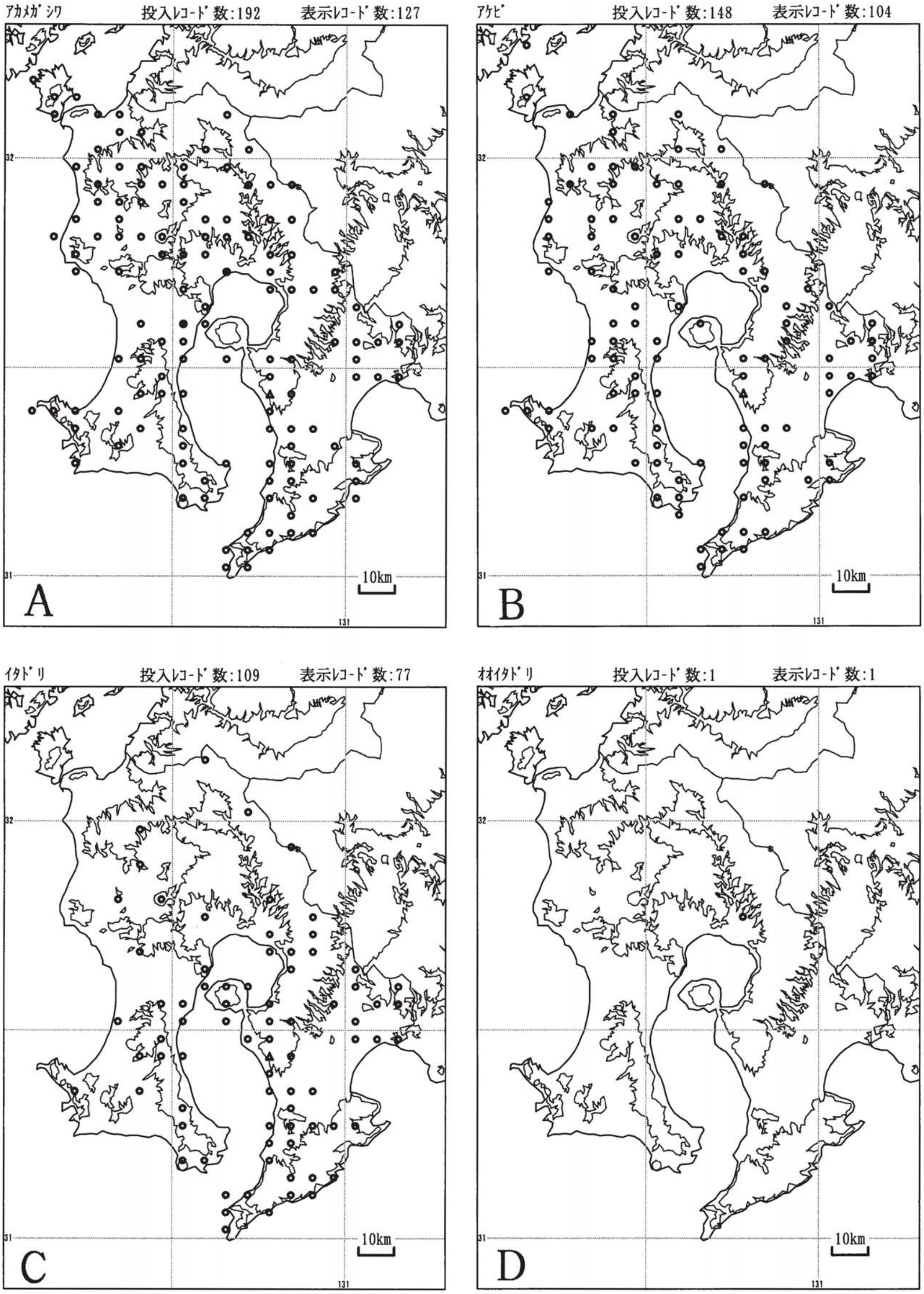

図２．A: *Mallotus japonicus*. ●標本（Specimen）．△文献（Literature）．○視認（Observation）．B: *Akebia quinata*. C: *Reynoutria japonica*. D: *Reynoutria sachalinensis*.

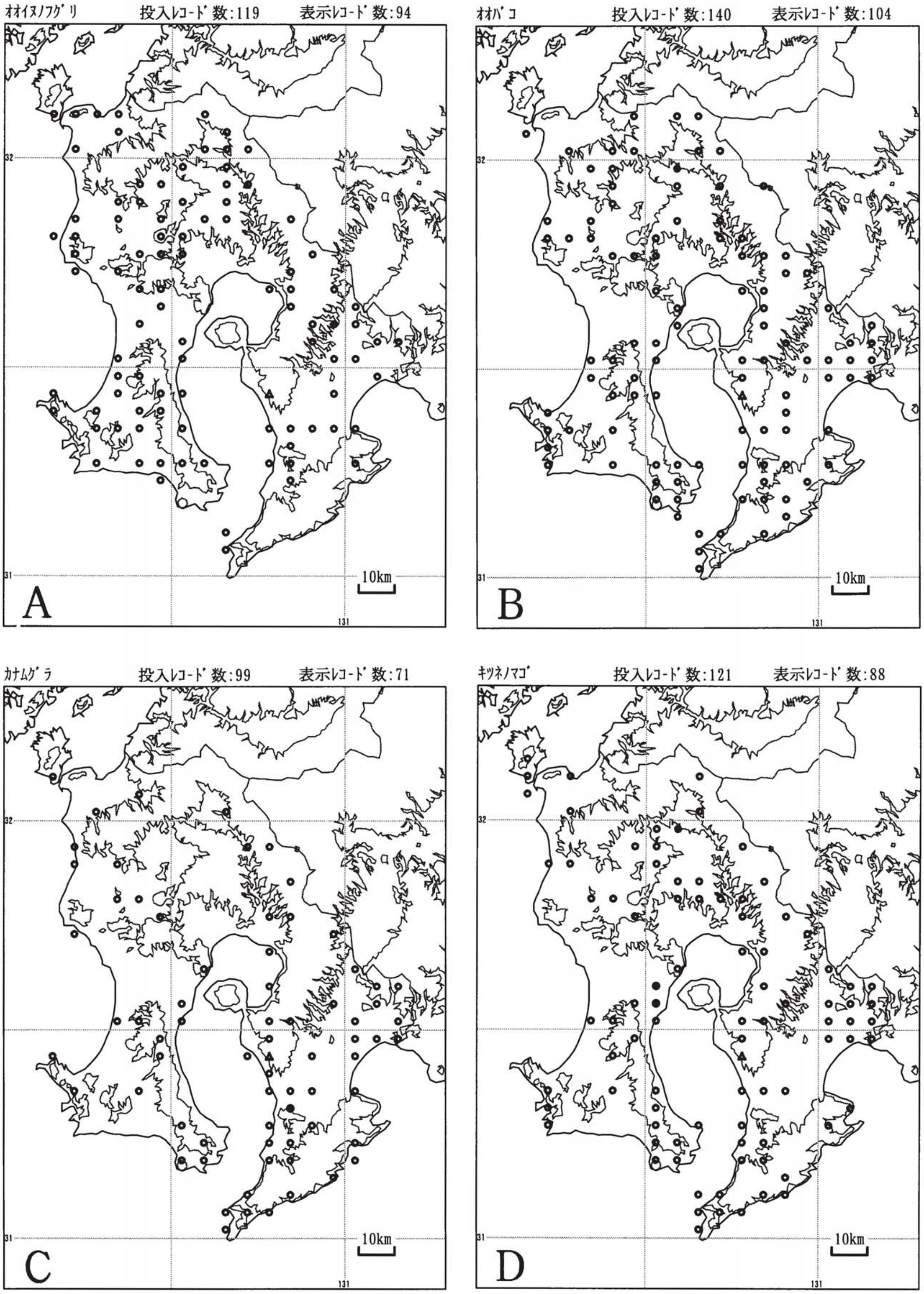

図 3． A: *Veronica persica*. B: *Plantago asiatica*. C: *Humulus japonicus*. D: *Justicia procumbens*.

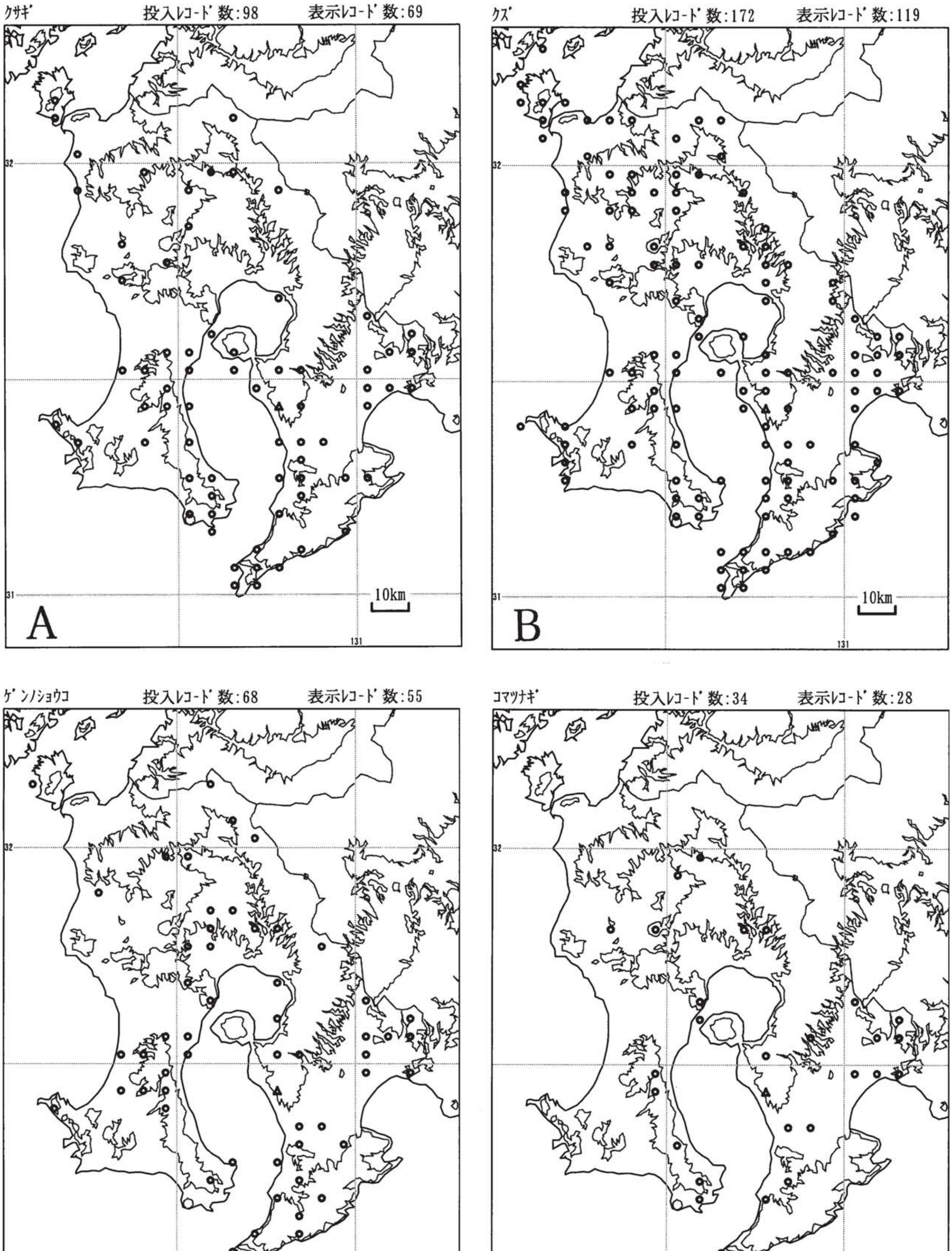

図 4． A: *Clerodendrum trichotomum*. B. *Pueraria lobata*. C: *Geranium thunbergii*. D: *Indigofera pseudotinctoria*.

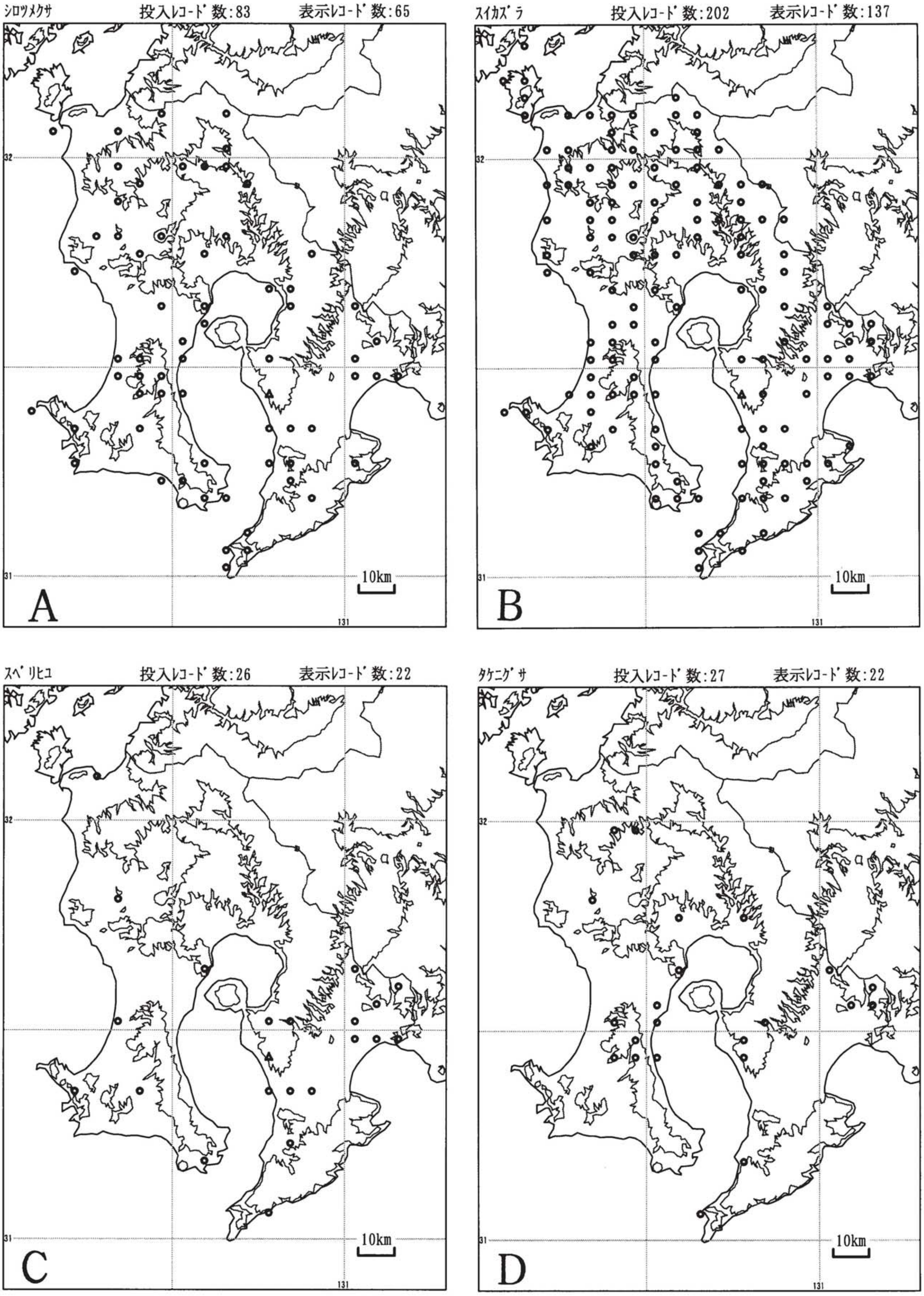
ｼﾛﾂﾒｸｻ 投入ﾚｺｰﾄﾞ数:83 表示ﾚｺｰﾄﾞ数:65
ｽｲｶｽﾞﾗ 投入ﾚｺｰﾄﾞ数:202 表示ﾚｺｰﾄﾞ数:137
ｽﾍﾞﾘﾋﾕ 投入ﾚｺｰﾄﾞ数:26 表示ﾚｺｰﾄﾞ数:22
ﾀｹﾆｸﾞｻ 投入ﾚｺｰﾄﾞ数:27 表示ﾚｺｰﾄﾞ数:22
32
31
131
10km
A
B
C
D

図 5． A: *Trifolium repens*. B: *Lonicera japonica*. C: *Portulaca oleracea*. D: *Macleaya cordata*.

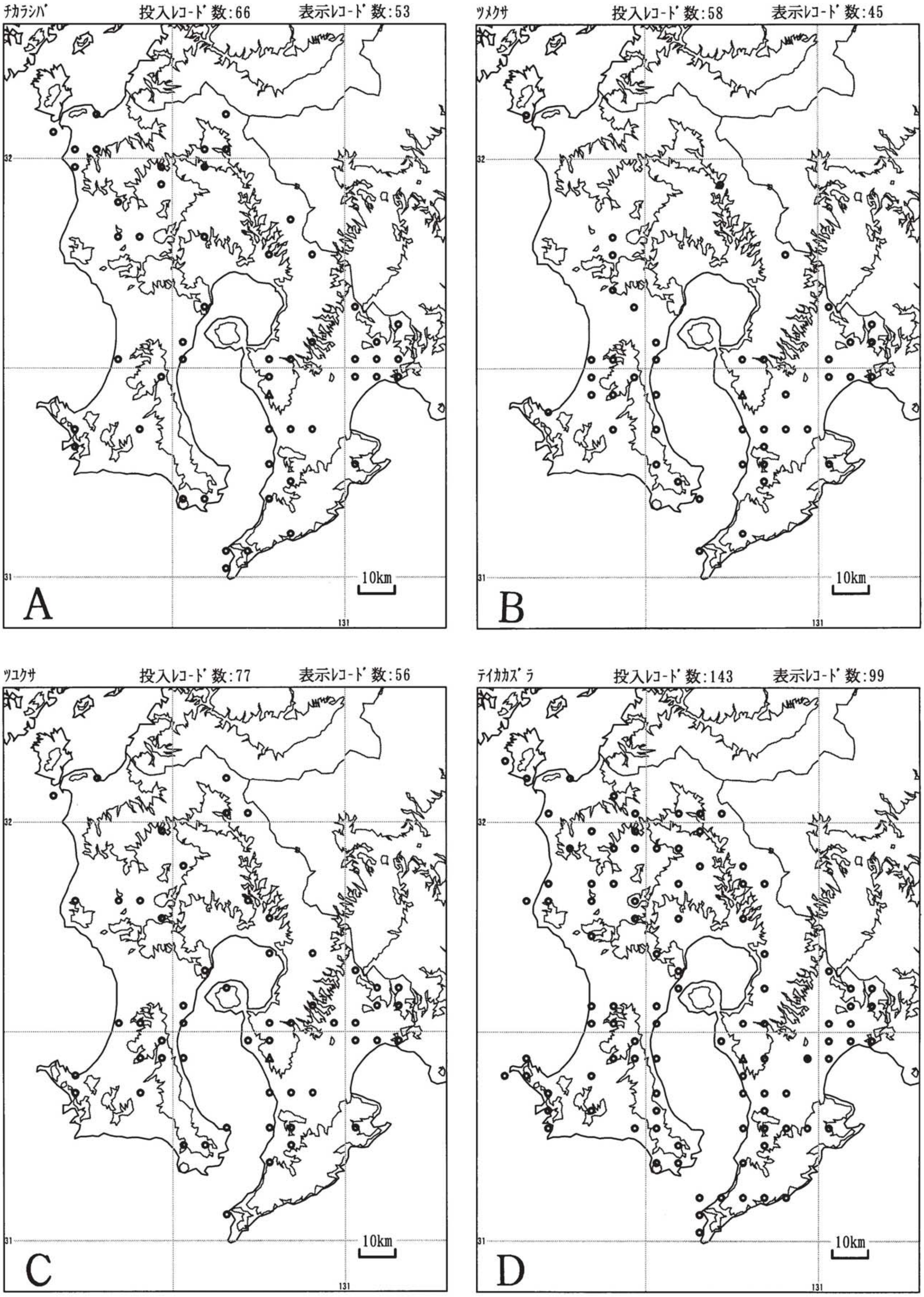

図 6． A: *Pennisetum alopecuroides*. B: *Sagina japonica*. C: *Commelina communis*. D: *Tracherospermum asiaticum*.

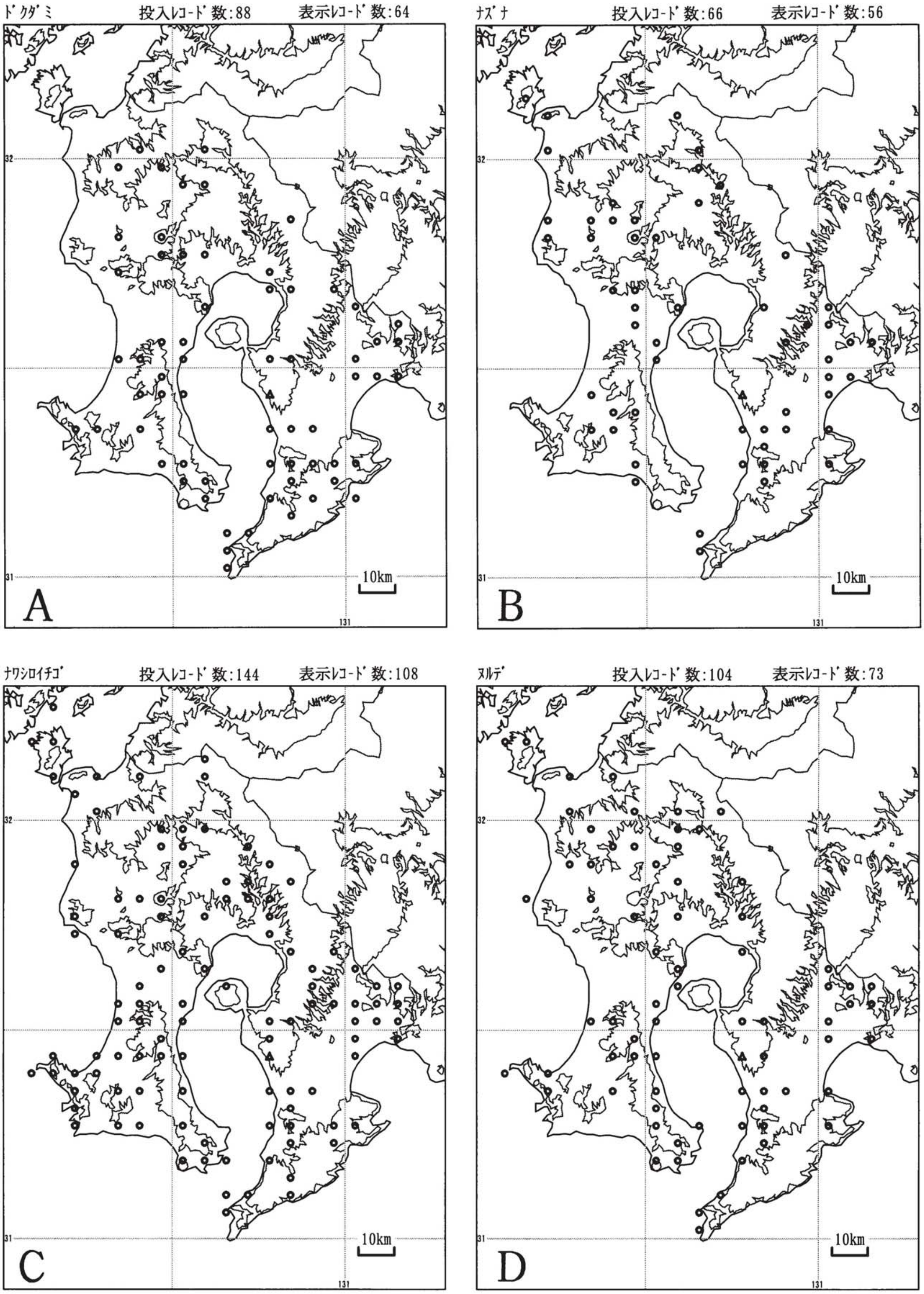

図 7． A: *Houttuynia cordata*. B: *Capsella bursapastoris*. C: *Rubus parvifolius*. D: *Rhus javanica*.

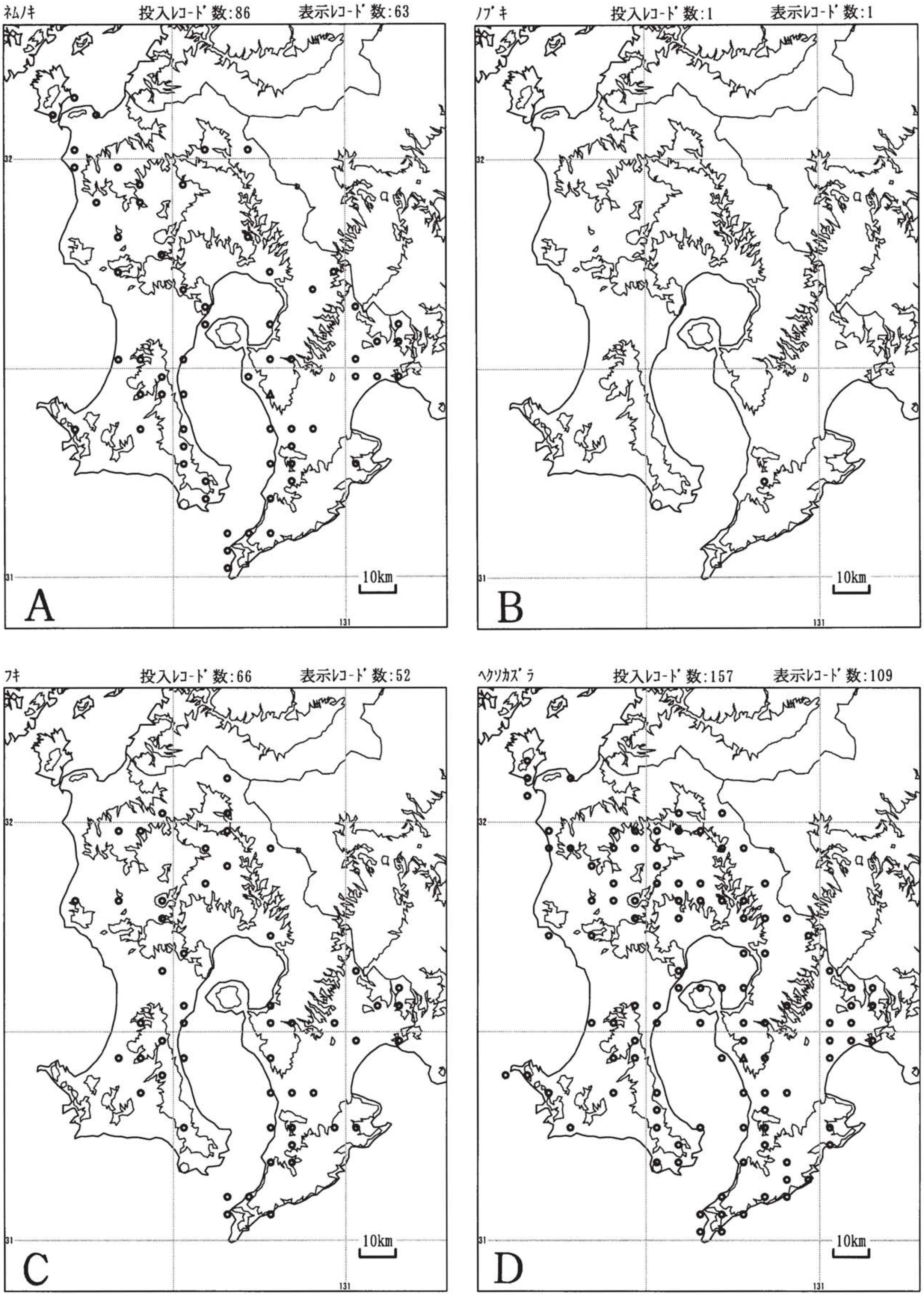
ﾈﾑﾉｷ 投入ﾚｺｰﾄﾞ数:86 表示ﾚｺｰﾄﾞ数:63
ﾉﾌﾞｷ 投入ﾚｺｰﾄﾞ数:1 表示ﾚｺｰﾄﾞ数:1
ﾌｷ 投入ﾚｺｰﾄﾞ数:66 表示ﾚｺｰﾄﾞ数:52
ﾍｸｿｶｽﾞﾗ 投入ﾚｺｰﾄﾞ数:157 表示ﾚｺｰﾄﾞ数:109
32
31
131
10km
A
B
C
D

図 8． A: *Albizia julibrissin*. B: *Adenocaulon himalaicum*. C: *Petasites japonicus*. D: *Paederia scandens*.

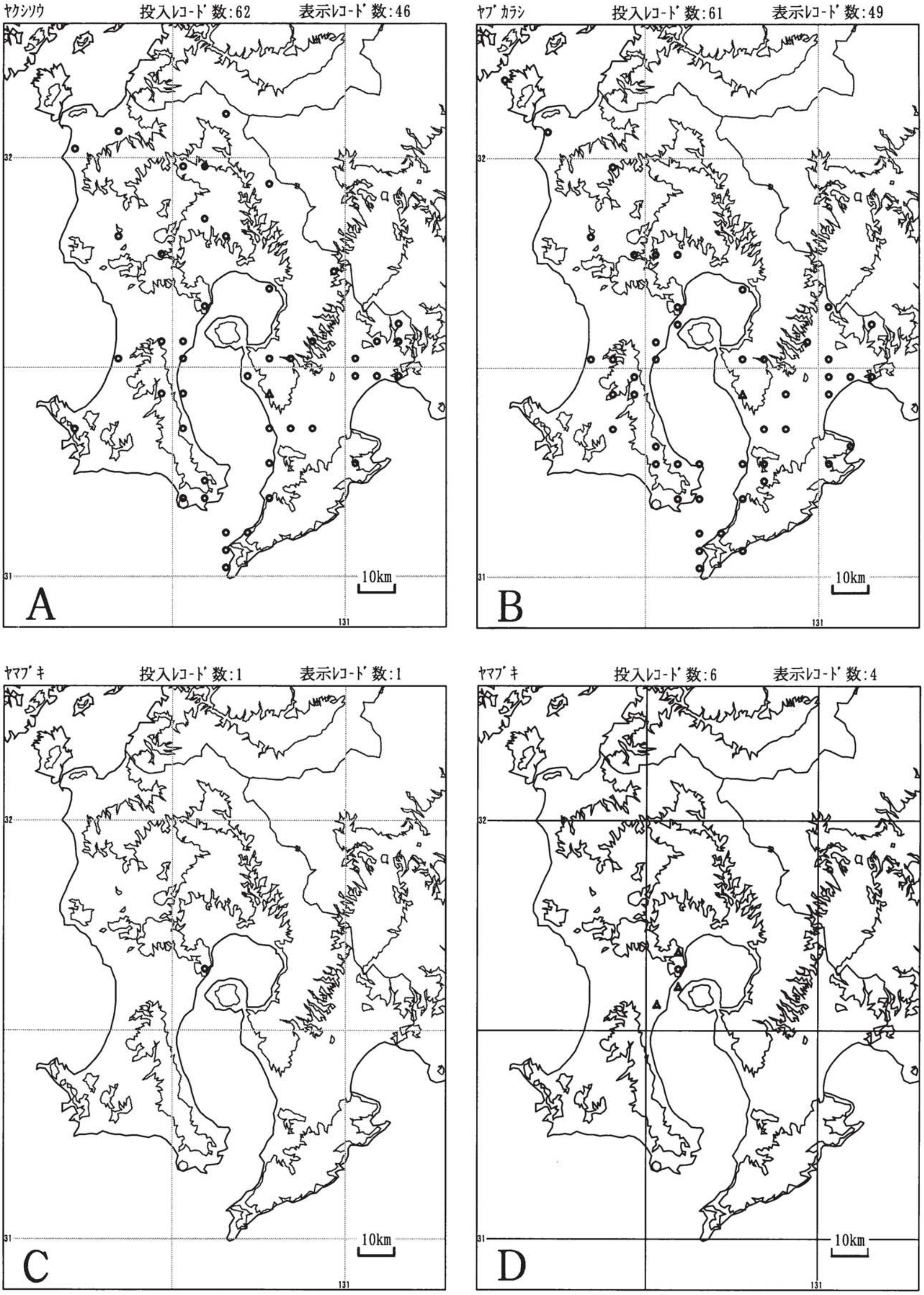

図 9． A: *Youngia denticulata*. B: *Cayratia japonica*. C: *Kerria japonica*. D: *Kerria japonica* with supplementary data.